

## 売掛金管理の

税理士法人クリアコンサルティング  
税理士 米津 晋次

## 仕組みづくり

### 〈前編〉

未回収の売掛金を効率よく回収するためには、得意先別残高や支払期日などの管理が大切です。売掛金の管理・回収に失敗すると、帳簿上は黒字なのに倒産する「黒字倒産」に陥りかねません。前編では、売掛金報告と得意先別管理の仕組みづくりについて解説します。



### 売掛金報告・得意先別管理の仕組みづくり

売掛金管理は、日頃からその管理体制を整えることが重要です。それには、目的別の標準様式を

定め、その各様式により速やかに報告・管理することが簡便です。  
【与信限度額の設定】

まず、得意先別に与信限度額を設定します。  
与信限度額とは、得意先ごとに

定めた売掛金や受取手形などの債権の上限額のことを指し、「与信枠」とも呼ばれます。

売上が増えたり、得意先が増加したりするのに比例して、売掛金が増えたり回収できないリスクも高まります。与信限度額を設定することにより売掛金の未回収リスクを一定金額以内に抑えることができます。

与信限度額の算出方法には、自社の純資産や自社の売掛債権、得意先の純資産、得意先の仕入債務、得意先の月間売上高などを基準とする方法があります。

導入しやすいのは、得意先の月間売上高を基準にする方法です。

得意先月間平均売上高×  
支払いサイト月数×格付ランク

自社の売掛債権全体を基準にする方法も導入しやすいでしょう。

自社売掛債権全体×一定割合  
(10%程度)×格付ランク

何を基準に与信限度額を設定したとしても、全得意先に統一基準を適用することが大切です。

また、与信限度額には有効期限を設定し、有効期限が到来したら再審査を行なって与信限度額を改めて設定することも必要です。

### 売掛金管理・報告の様式例

#### 【売上値引申請書】

値引きは会社の利益を直接減少させることとなりますので、安易な値引きを防ぐために、事前に値引きについて審査をする仕組みが必要になります。

この値引きの事前審査をするための書式が「売上値引申請書」(図表1)です。

この様式は、値引き理由をしつかりと確認することが目的です。審査を通過した場合には、承認を

受けた「売上値引申請書」を売掛金管理者へ回します。

## 【売掛金相殺報告書】

買掛金や未払金との相殺をした

場合も、売掛金管理者へ報告する必要があります。

買掛金等との相殺があった場合は、「売掛金相殺報告書」(図表2)を作成します。

## 【現金・手形等回収報告書】

代金の回収が銀行振込により行なわれる場合、その入金情報は必ず売掛金管理者に伝えます。

しかし、現金や小切手・手形で営業先担当者が代金を回収した場合には、うっかり忘れたり、担当者が不正をしたりすることで、売掛金管理者に報告されない可能性

図表1 売上値引申請書

売上値引申請書		0000年00月00日
部門名	販売第1課	担当者名 鈴木 三郎 印
金額	¥10,000	値引き・返金
値引希望日	0000/00/00	
コード	123001	
得意先名	東京機械株	
理由	納品した商品に傷があったため。	
振込先		
<input checked="" type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 不承認         0000年00月00日 責任者名 山田 一郎 印		

図表2 売掛金相殺報告書

売掛金相殺報告書		0000年00月00日
部門名	販売第1課	担当者名 鈴木 三郎 印
金額	¥3,300	相殺・振込手数料
相殺日	0000/00/00	本社送付日 0000/00/00
領収書発行	0000年 00月 00日	No. 123468
コード	123003	
得意先名	株福岡工業	
相殺内容	指定納品書用紙代との相殺	
領収書の添付		
責任者名 山田 一郎 印		

図表3 現金・手形等回収報告書

現金・手形等回収報告書		0000年00月00日
部門名	販売第1課	担当者名 鈴木 三郎 印
金額	¥4,620,000	現金・小切手・手形
回収日	0000/00/00	本社送付日 <small>※翌日には送付すること</small> 0000/00/00
領収書発行	0000年 00月 00日	No. 123467
コード	123004	
得意先名	横浜部品株	
種目	商品販売	
領収書の添付		
<small>※小切手、手形の場合は、コピーをとって裏面に貼ること → □貼付完了しました。</small> 責任者名 山田 一郎 印		

もあります。特に小切手や手形は多額になりがちなので注意が必要です。

現金や小切手・手形での回収報告の漏れや不正をなくすためには「現金・手形等回収報告書」(前ページ図表3)を作成します。

この「現金・手形等回収報告書」では、提出期限を厳しく設定することがポイントになります。

## 得意先別管理表の作成と活用

売掛金管理をする際には、当然ですが、得意先別の状況管理が必要です。

### 【得意先別売掛金元帳】

得意先別に「売掛金元帳」(図表4)を作成します(売掛金台帳ともいいます)。

総勘定元帳ではわかりづらい得意先別売掛金の詳細な現状を把握するために作成します。

得意先別に、売上発生日、取引内容、売上金額、回収日、回収金額、売掛金残高を記載します。販売管理ソフトを使って作成することをおすすめします。

### 【得意先別売掛金管理表】

「得意先別売掛金管理表」(図表5)は、全得意先の売掛金状況を一覧するための書式です。

どんなに少額な取引の得意先であっても省略せず、売掛金が発生する全得意先について記載することが必要です。

得意先コード順に記入すると漏れが防止できます。

「当月売上」欄には、1日から月末までの合計金額を記入するのではなく、締め日を基準として前回請求締め日の翌日から、今回請求締め日までの合計額を記入しましょう。

そうすることで、請求額とその回収額の対応状況がわかりやすくなります。

売掛金と回収額等が一致しない場合は、値引きや返品、報告漏れの可能性もあるので、営業担当者に関わり合います。振込手数料の負担方法に問題がある場合も考えられます。

営業担当者の報告漏れ等がない場合は、自社にミスがないことを確認したうえで得意先に問い合わせます。

グループ会社ごと、締め日ご

と、支払い条件ごとなどに集めて表示するように工夫するとわかりやすくなります。

また、回収が遅延している得意先が目立つようになっていることも大切です。

遅延得意先の数字を赤色にしたり、その行の背景色を変えたり、字体を太くしたりと、工夫してください。

### 【与信限度額変更申請書】

得意先別に設定した与信限度額以内で取引するのが基本ルールですが、その後の状況の変化やランクの変動により与信限度額を見直すこともあるでしょう。

そのような場合には、「与信限度額変更申請書」(図表6)を使用しましょう。

図表4 得意先別売掛金元帳

123001 東京機械株		2024年11月21日から2024年12月20日まで		
日付	取引内容	売上	回収	売掛金残高
11 21	前月繰越	1,100,000		1,100,000
11 25	A商品 2個売上	200,000		
11 30	B商品 1個売上	80,000		
12 10	C商品 5個売上	300,000		
12 15	振込み		1,100,000	
12 18	D商品 3個売上	150,000		
12 20	値引き	△10,000		
	消費税	72,000		792,000
12 20	次月繰越		792,000	
	12月合計	1,892,000	1,892,000	
12 21	前月繰越	792,000		792,000

### 【当月回収期日未入金一覧表】

取引開始時に取り決めた支払い期日の15時を過ぎたら、入金されなかったかどうかを確認しましょう。未入金の得意先があれば「当月回収

図表5 得意先別売掛金管理表

部門／販売1課			担当者／鈴木三郎			2024年12月31日						
得意先名		繰越残高	当月売上	当月入金					当月残高	与信限度	摘 要	
				現金・小切手	振込み	手形	相殺・振込手数料	値引き・返金				合計
1	123001 東京機械株	1,100,000	792,000		1,100,000				1,100,000	792,000	3,000,000	
2	123002 大阪電子株	8,800,000	7,980,000		4,400,000	4,400,000			8,800,000	7,980,000	15,000,000	
3	123003 株福岡工業	3,300,000	5,280,000		3,296,700		3,300		3,300,000	5,280,000	3,000,000	
4	123004 横浜部品株	4,620,000	3,080,000	4,620,000					4,620,000	3,080,000	10,000,000	
5	123005 株札幌電気	880,000	840,000							1,720,000	3,000,000	
6												
10												
合 計		18,700,000	17,972,000	4,620,000	8,796,700	4,400,000	3,300	0	17,820,000	18,852,000	34,000,000	

図表6 与信限度額変更申請書

申請部署	販売1課	申請者	鈴木三郎
前回決裁日	2020年12月25日	今回申請日	2024年12月25日

1. 取引概要

取引先名	株福岡工業	会社コード	123003
取引経緯	静岡商事(株) 社長より紹介	取引開始年月	2017年9月
申請限度	現在与信限度 300万円	今回申請限度	800万円
取引品目	ワイヤー、ネジ類	販売条件	20日締翌月20日振込入金
取引経路	静岡商事(株) →	当社	→ 株福岡工業

2. 債権残推移予想(円)

年月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月
販売高	2,750,000	3,300,000	5,280,000	5,500,000	6,600,000
債権残高	2,750,000	3,300,000	5,280,000	5,500,000	6,600,000

3. 管理手法

訪問頻度	月2回	取得資料	決算書
------	-----	------	-----

4. 担保

☒ 無 ☐ 現金( )円 ☐ 個人保証 ☐ その他( )

5. 申請者所見

社歴は短い、順調に業績を伸ばしており、与信限度額の拡大をお願いします。

6. 審査意見 (審査担当者名: 財務二郎)

印	業績拡大ペースも無理がなく、代表者もしっかりしている。取引拡大は問題なし。
---	---------------------------------------

7. 決裁者意見 (決裁者名: 名古屋太郎)

印	決定限度額 800万円	与信限度額拡大承認。 取引状況が順調であれば再度限度額拡大検討。
---	-------------	-------------------------------------

期日未入金一覧表」(図表7)に  
まとめて、すぐに売掛金管理者へ  
報告します。

売掛金の回収管理は、日常から

その回収状況をできるだけリアル  
タイムに見える化し、社内でも共有  
する仕組みを構築し、運用するこ  
とが重要です。そうすれば、問題  
のある得意先に対してすぐに対応

図表7 当月回収期日未入金一覧表

部門／販売1課		担当者／鈴木三郎		2024年12月25日	
得意先名		支払期日	請求額	連絡結果・支払い予定	
1	123005 株札幌電気	2024年12月25日	880,000	12/28に振込み予定	
2					
3					
4					
5					
6					
<hr/>					
10					
合計			880,000		

でき、早期回収や貸倒損失の軽減  
を図ることができます。  
次回は、定期的な債権残高の確  
認と、回収が遅れた場合の実務と  
注意点について解説します。